

練習課題 NO.8 設 計 課 題 「趣味(フラワーアレンジメント)室のある専用住宅(木造2階建)」

1. 設計条件

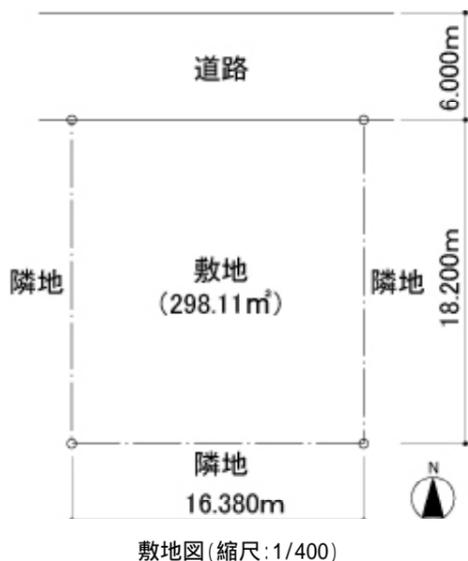
趣味(フラワーアレンジメント)室のある専用住宅を計画する。
 計画に当たっては、次の 〇 に留意すること。
 趣味室は、夫婦や友人との交流の場となるように計画する。
 居間・夫婦室の日照に留意する。
 書斎は出入口を1つ設け夫婦共用とするが、それぞれが個別に使用できるよう配慮する。

- (1) 敷地
 - ア. 形状・道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
 - イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
 - ウ. 建ぺい率の制限60%、容積率の限度は200%である。
 - エ. 地形は平坦で、道路との高低差は+300mm、隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
 - オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。
- (2) 構造及び階数
 - 木造2階建とする。
- (3) 延べ面積
 - 必ず「150㎡以上、180㎡以下」とする。
 (ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、屋外物置、駐車スペース、駐輪スペース等は床面積に算入しない。)
- (4) 家族構成等
 - ア. 夫婦(50歳代)
 - イ. 夫婦でフラワーアレンジメントを趣味として楽しみ、趣味を通じて地域活動にも積極的に参加し、来客も多い。また、フラワーアレンジメントに関する出版物の執筆等にも従事している。

(5) 要求室

室名	設置階	特記事項
玄関	1階	・駐車スペースから玄関ポーチへ直接行き来できるスロープを設ける。
台所	1階	ア. 6㎡以上とする。
食事室 居間		ア. 19㎡以上とする。 イ. 1室または2室としてもよい。
趣味室	1階	ア. 洋室19㎡以上とし、収納、流し台、ガス台を設ける。 イ. 居間から直接行き来できるよう配置し、廊下に面する独立した出入口を設けなくてもよい。 ウ. 作業台(800mm×1,500mm)1台、収納棚(450mm×900mm)1台を配置する。
予備室	1階	ア. 和室6畳とする。 イ. 床の間、押入を設ける。
浴室	1階	・3㎡以上とする。
洗面脱衣室	1階	・3㎡以上とする。
便所	1階	・心々1,365mm×1,365mm以上とする。
夫婦室	2階	ア. 洋室19㎡以上とする。 イ. その他にウォークインクローゼット6㎡以上を設ける。
書斎	2階	ア. 洋室25㎡以上とし、夫婦で共用できる収納3㎡以上を設ける。 イ. 1室とし夫婦共用とするが、個別に使用できるよう、夫用と妻用にそれぞれ分離する。
納戸	2階	・3㎡以上とする。
シャワー室	2階	・3㎡以上とする。
洗面脱衣室	2階	・3㎡以上とする。
便所	2階	・心々1,365mm×1,365mm以上とする。

(注1) 1階の廊下の幅は、心々1,365mm以上とする。



- (6) 屋外テラス、花壇等
 - 敷地内に、屋外テラス(9㎡以上)及び花壇(露地栽培とし、16㎡以上)を設ける。
 屋外テラスは、フラワーアレンジメントの鑑賞等に使用するものとし、趣味室と一体的に利用できるように配置する。
- (7) 駐車スペース及び駐輪スペース
 - 敷地内に、小型乗用車(5人乗り)1台分の屋外駐車スペース及び2台分の屋外駐輪スペースを設ける。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(矩計図にあっては、10mm)である。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建物との距離、建物の主要な寸法を記入する。 イ. 1階平面図兼配置図に、門、塀、植栽、駐車スペース、駐輪スペース等を記入する。 ウ. 室名を記入する。
(2)2階平面図 (1/100)	エ. 流し台、調理台、ガス台、浴槽、洗面器、便器、洗濯機置場その他必要と思われるものを記入する。 オ. 「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」に 印を付ける。 (注)「耐力壁」とは、筋かい等を設けた構造上有効な壁をいう。 カ. 2階平面図に、1階の屋根伏図も記入する。 キ. 矩計図の切断位置を記入する。
(3)2階床伏図兼1階小屋伏図 (1/100)	ア. 主要な構造部材(根太及び根太を受ける横架材、母屋、棟木、垂木等)の名称及び断面寸法を記入し、平屋部分は小屋伏図をかくこと。 イ. 2階の柱位置を明示すること。 ウ. 垂木は必要部分のみ図示し他は省略してもよい。 エ. 矩形図の切断位置を記入する。
(4)矩計図 (1/20)	ア. 切断位置は、趣味室を含み1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってもよいものとする。 エ. 主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、ひさしの出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ. 主用部材(基礎、土台、柱、大引き、1階根太、胴差、2階床ばり、2階根太、けた、小屋ばり、もや、たるき)の名称・断面寸法を記入する。 カ. 床下換気口の位置・名称を記入する。 キ. アンカーボルト及び羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 ク. 外気に接している次の部分の断熱・防湿措置を記入する。 ・屋根(小屋裏又は外気に通じている場合は、屋根の直下の天井) ・外壁 ・1階床 ・その他必要と思われる部分 ケ. 室名及び内外の主要な部位(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上げ材料名を記入する。
(5)面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を、答案用紙の面積表に記入する。 イ. 建築面積及び床面積は、計算式も記入する。 ウ. 数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。

3. その他

次の試験については、上記のほか、下記による。

北海道の試験

- (1) 設計条件
 - 北海道の気象条件に合うような防寒構造とする。
- (2) 要求図面等の特記事項
 - 矩計図に、想定した凍結深度、基礎の凍上防止措置、壁、天井、床等の断熱、防湿等の防寒措置を記入する。